

学年だより

第36号

令和6年2月2日(金)

「笑顔であいさつ」できていますか

「挨拶は大西中の伝統」と言う言葉を聞いたことがあります。果たして、この伝統は受け継がれているでしょうか。先日の全校朝会で生活指導主任の竹葉先生から挨拶について話がありました。生活委員会でも、挨拶運動を実施しています。

挨拶はなぜ大切なのでしょう。先輩の先生が書かれた通信から引用します。「漢字で書くと『挨』『拶』と書きます。『挨』は心を開く、『拶』は相手に迫る。つまり、挨拶は心を開いて、相手に近づくという意味が込められています。『おはようございます』は、『早くからご苦労様です』の略で、朝早くから働く人をねぎらう言葉です。『こんにちは』は、『今日のご機嫌いかがですか』の略で、相手の体調や心理状態を気遣う言葉です。挨拶の意味を紐解いて考えてみると、その大切さが分かってきます。何気なく使われている言葉ではありますが、相手に対する思いやりを込めたメッセージになっているのです。」

恥ずかしながら私はこの通信を読んで、初めて挨拶の漢字が意味するところを知りました。挨拶は礼儀、コミュニケーションをスムーズにするツールとは思っていましたが、こんな深い意味があるとは。皆さんは、どう思いましたか。挨拶の意味を考え、進んで声を出して挨拶したいものです。



「働くことについて」の学習を行います

2月10日(土)に職業についての学習を行います。1校時は、職業調べ新聞のクラス代表による発表会。2校時は、社会の各分野で活躍されている3人の講師の方のお話です。職業についての理解を深め、自分の将来について考えましょう。

狂言の本公演を鑑賞しました

1月26日(金)の5、6校時に大藏流狂言の本公演を鑑賞しました。今回は、ステージの上に簡易な能舞台を設置し、「附子(ぶす)」「柿山伏(かきやまぶし)」「菌(くさびら)」の三つの演目を上演しました。解説付きの上演で、前回のワークショップで学んだ予備知識もあり、いにしえの人々が感じたこっけいさを共有できました。「菌」には各クラスから選ばれた12人の生徒が共演しました。かわいいキノコたちの熱演は拍手喝采です。「クイズコーナー」「質問コーナー」もあり、より深く狂言を味わうことができました。大切なのは想像力を働かせること。今回の学校巡回講演を通して、日本の伝統文化に対する理解も一層深まったことと思います。



F組 N.Y

私は、きのこになって、練習の大切さを学びました。舞台に向かって歩くときや、そこで左右に回るとき、高くジャンプして「ホイ!」というときに、ふらついてしまったり、音を立ててしまったりすることがありました。そんなとき、練習していれば堂々と演技ができると思ったからです。この学びを生かして、テスト勉強などに取り組んでいきたいです。狂言は、歴史が深く昔の言葉などの難しい所もあるけど、とても楽しいことがわかりました。

来週の予定

日にち	予定
5日(月)	1校時カット 全校朝会 安全指導 職員会議
6日(火)	避難訓練 心のふれあい専門員勤務日
7日(水)	1校時カット 心のふれあい専門員勤務日 部活動再登校
8日(木)	学校保健委員会 スクールカウンセラー勤務日
9日(金)	⑥総合 上級学校Ⅰ 第3回漢字検定
10日(土)	学校公開日 ①学年発表 ②職業講話 ③総合 上級学校Ⅱ

